



SKYWORKS®



2021年度サステナビリティレポート

環境責任および社会責任の実現

目次

サステナビリティに対するコミットメント	3	安全衛生	18
CEOからの手紙	3	安全かつ衛生的、生産的な労働環境	18
当社について	4	安全衛生の遵守	18
製品	4	人権	19
リーダーシップ	5	奴隷および人身売買の防止	19
ガバナンスおよび監視	6	マネジメントシステム	19
ステークホルダーとの関わり	7	倫理	20
コネクテッドワールドの実現	8	行動規範	20
2021年のハイライト	8	コミュニケーションとトレーニング	20
サステナビリティ方針	8	内部通報制度	20
環境	9	グローバルな熟練労働力の管理	21
エネルギー管理	10	企業文化とダイバーシティ	21
再生可能エネルギー	11	採用と定着	21
温室効果ガス排出管理	12	トレーニングと能力開発	22
CO2eの長期排出率削減目標	12	従業員エンゲージメント	22
水管理	13	コミュニティ	23
廃棄物管理	14	コミュニティでの多様性	24
サイバーセキュリティ	15	付録	25
製品ライフサイクル管理	16	TCFD索引	25
サプライチェーン	16	SASB索引	26
責任ある鉱物調達	16		
サプライヤーの責任	17		
サプライヤー認定プロセス	17		

サステナビリティに対するコミットメント

CEOからの手紙

コネクティビティは日常生活のほぼすべての側面を根本的に変えており、スカイワークスの重要な使命である「すべての人とモノが、いつもつながる世界へ」を強調しています。日々ますます多くの活動がオンラインで行われており、テクノロジーを駆使したインタラクティブな体験への依存が高まり、さまざまな用途でシームレスで超高速のワイヤレスコネクティビティに対する需要が高まっています。

スカイワークスでは、ユニバーサルなコネクティビティを可能にするという私たちのビジョンは、気候変動、人権侵害、サプライチェーンの混乱、地政学的緊張、および世界的な新型コロナウイルスのパンデミックに関連する課題を軽減するための世界的な取り組みと一致しています。私たちは、環境への影響を減らし、効率を高め、幅広い業界や機関での情報共有を促進する重要な活動をサポートする最先端テクノロジーを提供できることを誇りにしています。

複数年にわたるワイヤレス移行の初期段階では、5Gやその他の高度な接続テクノロジーの驚異的なパワーと可能性をすでに認識しており、これらは世界中の企業やコミュニティのサステナビリティへの取り組みを推進するために活用されています。拡大するモノのインターネット (IoT) は、測定と分析を最適化と通知にシームレスに組み合わせた人工知能 (AI) を利用したエコシステムのバックボーンを提供します。スカイワークスの最先端ワイヤレス技術は、農場、工場、車両、電力供給網、およびその他の成長を続ける多くの分野での環境改善アプリケーションの不可欠なコンポーネントです。

山火事、干ばつ、洪水、より頻繁な異常気象などの最近の出来事、および国際紛争と社会不安の高まりにより、サステナビリティと適応性はかつてないほど重要になっています。予期しない混乱がスカイワークス、バリューチェーン全体のお客様およびパートナーに影響を及ぼしましたが、スカイワークスは、知的財産、社内製造、人的資本への長年の戦略的投資を行った結果として、この複雑な環境を効果的に乗り越えてきました。スカイワークスの専任チームは、2021年に非常に優れた業績を挙げ、多くのステークホルダーに高い価値を提供すると共に、会社の回復力をさらに強化し、将来に向けてより良いポジションを築きました。このような背景のもと、この第13回年次サステナビリティレポートでこれらの取り組みを皆様と共有できることをうれしく思います。

今年のレポートには、人的資本の管理、労働力の多様性、環境責任、サイバーセキュリティ、サプライチェーン管理、企業責任とサステナビリティの取締役会と委員会による直接監視など多くのテーマについて、これまでのレポートに比べてより多くの情報が含まれて

います。2021年には、株主、お客様、その他のサードパーティパートナー、コミュニティリーダー、従業員、その他のステークホルダーグループとのエンゲージメント活動を通じて、有益なご意見をいただきました。このような交流の中で、当社は、本レポートに含まれる多くの分野での進捗を共有することができました。サステナビリティ会計基準審議会 (SASB) および気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) が定めた開示の枠組みやガイドラインに沿って、今回初めて、さまざまな環境指標に関する改善目標を皆様と共有することになりました。

当社は、長年にわたるサステナビリティの方針、コミットメント、それを支えるマネジメントシステムを基盤にし、さらなる効率化を推進し、主要な指標を大幅に改善し続けています。2021年度は工場の増産に伴い、前年比50%以上の増収となりましたが、当社の工場での温室効果ガス排出量と水の使用の総量はこれまでの年度とほぼ同じ水準にとどまっています。これらの素晴らしい結果は、重要な水再生プロジェクトを完了し、製造プロセスにおけるエネルギー効率の改善に焦点を当てた取り組みを行った、当社の世界クラスのオペレーションチームによってもたらされました。

スカイワークスの2021年の業績は、当社の取締役会と経営陣の深い関与と相まって、将来の世代の能力を損なわずに今日のニーズを満たす革新的なソリューションを提供することで、当社は、さらなる持続可能な成長に向けて良好なポジションにあります。

これからの旅路を楽しみにしています！



Liam K. Griffin

会長兼最高経営責任者兼社長



会社概要

すべての人とモノが、いつもつながる世界へ

スカイワークスはカリフォルニア州アーバインに本社を置き (Nasdaq: SWKS)、アジア、ヨーロッパ、北米の各地にエンジニアリング、マーケティング、オペレーション、セールス、サービスの拠点を展開するグローバル企業です。非常に革新的な当社のアナログ半導体は、航空宇宙、自動車、ブロードバンド、セルラー インフラ、ホームネットワーク サービス、エンターテインメント、ゲーム、工業、医療、軍事、スマートフォン、タブレット、ウェアラブルなど、以前は想像もなかった新しい用途で、人、場所、モノを結びつけています。

主要製造拠点



マサチューセッツ州ウーバーン
GaAs HBT, pHEMT, GaN Fab



カリフォルニア州ニューベリーパーク
GaAs HBT製造工場



日本、大阪市
SAW / BAWフィルター製造工場



日本、門真市
SAWフィルター製造工場



メキシコ、メヒカリ
バックエンドアセンブリ&テスト



シンガポール、ベドック
SAW/BAWフィルター-WL-CSP製造工場

当社の製品はサステナビリティをサポート

5Gのパワーは、世界中の産業でサステナビリティの取り組みを推進する組織でますます活用され、測定、分析、最適化を組み合わせ、AI搭載エコシステムにワイヤレスバックボーンを提供しています。スカイワークスのThread、BLE接続、RFスイッチは、スマートコネクテッドコントロールを使用して、Google Nest Hub 2nd GenerationやGoogle Nest Audio Home Mini 3などのデバイスのスマートホーム機能を強化します。また、当社のRTFプラットフォームは、ティア1 OEMのホームオートメーションとセキュリティの効率化を実現し、長時間のバッテリー寿命を提供します。

さらに、当社のM2M (マシン・トゥ・マシン) IoTデバイスは、スマートメーターやアセットトラッカー向けに電力効率の高域セルラー接続ソリューションを提供し、当社の絶縁増幅器やデジタルアイソレーターは家庭用蓄電池管理システムで使用されています。5Gの広帯域への対応能力は、センサーやデータの増加をサポートし、スマートシティ、工場、農業などにおける資源利用について、より良くより効率的な決定をを可能にします。



当社のリーダーシップ



Liam K. Griffin

会長兼最高経営責任者兼社長



Carlos S. Bori

シニアバイスプレジデント
営業&マーケティング部



Kari Durham

シニアバイスプレジデント
人事部



Yusuf Jamal

シニアバイスプレジデント兼ゼネラルマネージャー
ダイバーシファイドアナログソリューション部



Reza Kasnavi

シニアバイスプレジデント
テクノロジー&製造部



Joel R. King

シニアバイスプレジデント
兼ゼネラルマネージャー
モバイルソリューション部



Kris Sennesael

シニアバイスプレジデント兼
最高財務責任者



Robert J. Terry

シニアバイスプレジデント兼
ゼネラルマネージャー
ゼネラルカウンセル
兼秘書



Mark Thompson

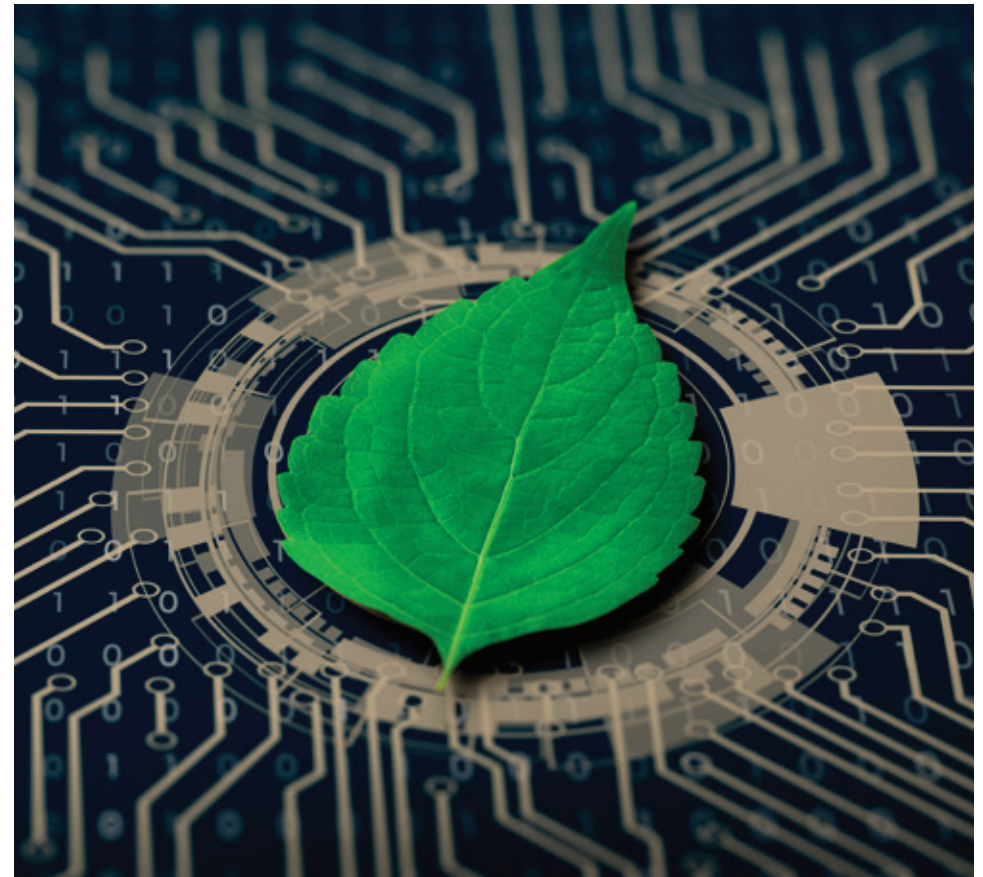
シニアバイスプレジデント
兼ゼネラルマネージャー
ミックسدシグナルソリューションズ部

ガバナンスおよび監視

当社の取締役会は、直接または委員会を通じて、当社の一般的な企業責任とサステナビリティを監督します。取締役会の推薦・コーポレートガバナンス委員会 (NCGC) は、環境・社会・ガバナンス (ESG) に関する問題が当社の事業に及ぼす潜在的な影響など、企業責任とサステナビリティに関する事項の具体的な監督を任されています。2021年、スカイワークスの経営陣は、3度実施されたNCGCの各会合でESG関連の進捗を報告し、取締役会全体に対しても1度報告しました。これらのESGアップデートで取り上げられた議題には、気候リスク、短期および長期の環境目標、温室効果ガス排出量の削減、水の使用と効率化、サプライチェーン内の人権、人財管理、労働力の多様性、取締役会の刷新、およびステークホルダーとの関わり、および上記議題に関する情報開示が含まれています。さらに、取締役会の監査委員会は、法的リスクおよびコンプライアンスリスクに関連するリスク管理活動を監督し、内部通報の報告システムおよび適用される法律、規則、規制の遵守について経営陣と定期的に協議します。

当社は、サステナビリティプログラムについて、組織全体の目標と戦略的なビジョンを定めています。サステナビリティ評議会は、スカイワークスの組織全体からなる部門横断的なチームで、各施設特有の目標、システム、改善プロジェクトの確立と管理、さらに、RBA行動規範の準拠、それに関連するリスク管理活動など、日々のサステナビリティの取り組みに対して責任を負っています。ESG関連のさまざまな事業目標の進捗は、詳細なパフォーマンススコアカードを使って事業レベルで毎月監視され、四半期ごとに技術・製造担当シニアバイスプレジデントやその他の上級幹部と検討し、定期的にNCGCまたは取締役会に報告されます。

気候変動に関しては、特に、サステナビリティ評議会在、オペレーション、環境、安全衛生、法務、人事、調達、サプライチェーンの各組織の専門家の知識を活用し、リスクの特定、二酸化炭素換算 (CO₂e) 排出量や水のリサイクルおよびサステナビリティ対策の改善目標を設定し、再生可能エネルギーの調達努力を調整して、進捗状況を確認し、改善を推進しています。また、サプライヤーにエネルギー消費と温室効果ガス排出に関するプログラムを維持するよう求めるRBA行動規範の要件に沿って、製造拠点ではISO 14001認証の環境マネジメントシステムを運用し、製造オペレーションによる環境への影響を管理・削減しています。マネジメントレビューの場を活用し、各拠点ならびに経営陣レベルで進捗状況を把握し、目標が未達成の場合は対策を講じるようにしています。環境改善活動では、CO₂e排出原単位の最小化とエネルギー使用効率の最大化に向けて、効率化を図っています。



ステークホルダーとの関わり

バリューチェーン全体を通じた主要な構成員への対応は、優れたコーポレートガバナンス、責任、および説明責任に対する当社のコミットメントの重要な部分です。2022年の株主招集通知で詳細に説明しているように、当社は、ESG課題に対する株主の考え方を理解するために定期的に働きかけています。同様に、お客様、サプライヤー、従業員、信用格付け機関、非政府組織（NGO）、コミュニティ組織、業界団体、規制当局などの様々な組織からのフィードバックを求め、公開されている提言をレビューします。本レポートのガバナンスおよび監視セクションに記載されているように、さまざまなステークホルダーからの意見を含め、企業責任とサステナビリティの問題に関して、NCGCおよび取締役会に定期的に進捗を報告しています。

当社は、サステナビリティを含む多くのトピックを網羅して、お客様とビジネスレビューを定期的に行っており、お客様の提案や要求に対応する措置を講じています。たとえば、2021年にはお客様からのフィードバックに応じて、行動規範を改訂しました。

2021年の機関投資家とのエンゲージメント会合で、大多数が2020年度サステナビリティレポートの追加開示に賛意を示しました。このレポートは、SASBが公表した外部報告の枠組みに初めて準拠したものです。一部の株主からは、ESG問題の取締役会による監視、具体的な環境目標（CO₂e排出削減など）、サプライチェーンにおける人権侵害への取り組みなど、さまざまなトピックを今後のレポートでの追加開示を求める声もありました。ステークホルダーとの関わり強化の一環として、本レポートにご期待に沿った情報を開示しています。

2020年および2021年にはさまざまなステークホルダーからのフィードバックを受け、本レポートでの開示をSASBの開示枠組みのみならず、TCFDのガイドラインにも準拠するよう改善いたしました。確立された枠組みやガイドラインに沿って報告することで、ステークホルダーに当社のESGプログラムをより理解していただけたと考えています。本レポートの付録では、本レポートがSASBの報告枠組みおよびTCFDのガイドラインとどのように整合しているかを詳細に説明するとともに、該当する場合は省略や差異にも言及しています。一般に、本レポートの開示では、スカイワークスの全事業運営について言及しています。ただし、開示が当社のオペレーションの一部（工場所在地のみなど）に言及している場合は、レポート内でその旨を明記しています。本レポートのデータは、合理的な仮定と本レポート作成時の最善の予測に基づいています。新たな情報の出現により、本レポートを更新または改訂することは考えておりません。



持続可能なビジネス慣行を通じてコネクテッドワールドを実現

2021年のハイライト



1億6,800万 ガロン (6億3600万リットル) の水使用量を削減



エネルギー効率の高い改善により
1億200万 kWhを節電



3,000万 kWhの再生可能エネルギークレジットを調達



550,000 ポンド (250トン) の有害廃棄物を削減



世界の労働力が**10%** 成長



TCFDへの対応開始



ISO 14001認証を全製造拠点で保持



Responsible Business Alliance (RBA) への加盟10周年

サステナビリティ方針

スカイワークスは、現在そして未来のニーズに対応する持続的なビジネス慣行に基づく事業運営に取り組んでいます。当社はマネジメントシステムのアプローチ採用により、以下を実践しています。

- 適用される法規制の遵守
- 汚染防止、資源保護、廃棄物の削減
- 安全かつ衛生的、生産的な労働環境の構築
- 誠実、正直、説明責任に基づいた事業運営
- 継続的改善の促進
- サプライチェーンを通じたサステナビリティの推進



環境

当社は、ISO 14001認定のマネジメントシステムで概説されている環境改善のための確立されたプロセスを利用して、エネルギー、水、有害廃棄物、都市廃棄物、CO2e排出の主要な影響カテゴリーの改善をを目的とした目標を定期的に設定しています。工場の各拠点は、これらのカテゴリー目標達成に向けた改善プロジェクトを特定する任務を負っています。パフォーマンス指標に対する進捗は、頻繁にモニターされ、報告されます。定期的なマネジメントレビューにより、改善プロジェクトを完了させ、設定した目標を達成または上回るように、組織全体が認識し、継続的にサポートするようにしています。次のページでは、主な環境影響カテゴリーごとのパフォーマンスと今後の目標をご紹介します。

継続的なプロセス改善の取り組みの一環として、さまざまなステークホルダーからのフィードバックに応じて、今後のレポート作成にあたり、CO2e排出量と水使用量のデータについて、第三者機関による検証を得るよう取り組んでいます。

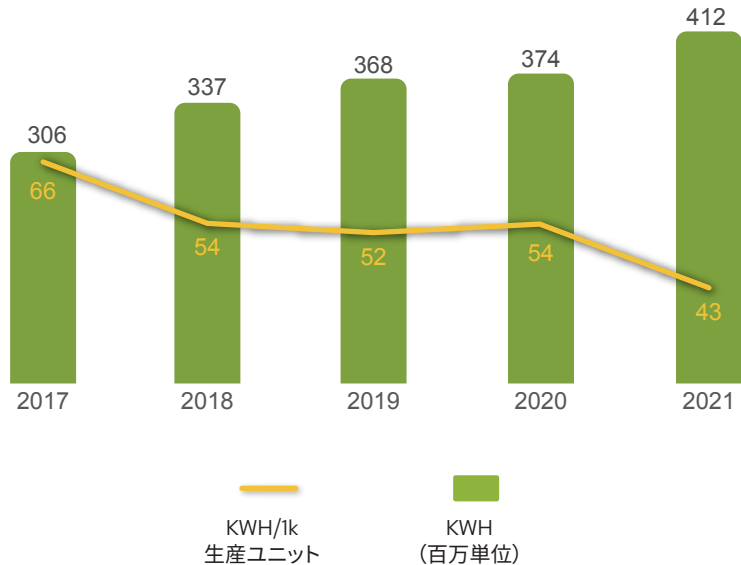


エネルギー管理

スカイワークスは、エネルギー消費量を、(エネルギー供給網によって供給される) 電力使用量と天然ガス使用量の合計として測定しています。2021年には、当社の工場拠点*で消費された総エネルギーは412,497,290 kWh (1,484,990ギガジュール) でした。総エネルギー使用量は、生産能力の拡大により大幅に増加しました。

総エネルギー消費量の増加にもかかわらず、2021年には、エネルギー使用効率が前年比20%向上し、目標の5%を上回りました。シンガポールとメヒカリの各拠点では、クリーン/ドライエア(CDA)システムの温度と圧力の設定値を改善することで効率化に大きく貢献し、CDAの生成に必要なエネルギーを大幅に削減しました。

工場*のエネルギー使用量



2021年エネルギー使用効率の改善†



2022年エネルギー使用効率の改善†



*カリフォルニア州ニューベリーパークを含む主要な製造拠点。マサチューセッツ州ウォーバーン、メキシコ・メヒカリ、日本・門真市および大阪市、シンガポール・ベドック。

† 前年比

再生可能エネルギー

2021年、スカイワークスは再生可能エネルギーの調達取り組みを継続しました。当社の電力消費量の3,000万kWh以上が再生可能エネルギークレジットを介した再生可能エネルギー源からのものです。これは、地域の規制要件のために購入したものと供給網から供給された再生可能エネルギーの割合を大きく上回るものでした。

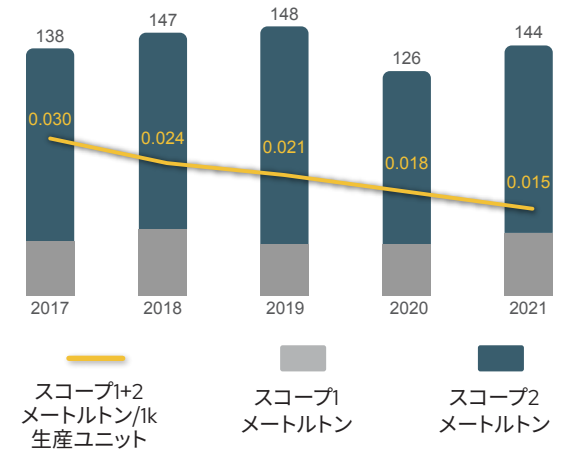
米国では再生可能エネルギーの利用は容易ですが、当社が施設を維持している多くの地域ではそうではありません。特に、メキシコ、シンガポール、日本では、再生可能エネルギーのインフラが整備されていないため、再生可能エネルギーの調達に障害があります。日本では、現地のエネルギー供給会社と協力するコンソーシアムに参加し、再生可能エネルギーの供給体制の構築と導入の促進に努力しています。このコンソーシアムは、主に、幅広い産業とエネルギー使用プロファイルを代表する米国の多国籍企業で構成されています。



温室効果ガス排出管理

スコープ1および2のCO₂e排出量は、スカイワークスが世界中で実施している改善プロジェクトを通じて綿密に監視され、最小限に抑えられています。天然ガス（主に施設のインフラストラクチャーシステムに使用）とパーフルオロカーボン（PFC）およびハイドロフルオロカーボン（HFC）ガス（半導体製造に不可欠）は、スコープ1のCO₂e排出の主な発生源です。当社の電力消費は、電力会社の発電施設での間接的なスコープ2CO₂e排出となっています。地元の電力供給網は、再生可能エネルギー源からの電力供給の全体的な割合を増やすよう継続的に改善しており、その結果、供給されるkWhあたりのCO₂e排出量が減少しています。さらに、スカイワークスは、本書の11ページで説明されているように、再生可能エネルギー源を積極的に活用しています。

工場*のスコープ1および2のCO₂e排出量

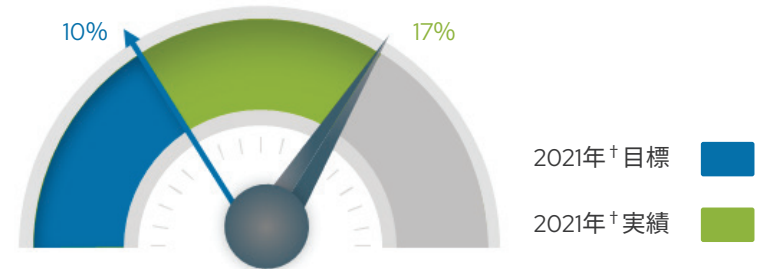


注意: スコープ1のCO₂e排出量は、プロセスに関連するすべてのPFC、HFCガスおよび天然ガスを含みます。スコープ2 CO₂e排出量には、電力消費に伴う事業所外の排出量を含みます。

CO₂eの長期排出率削減目標

当社は、CO₂e排出量を削減し、当社が事業を行っている国で再生可能エネルギー調達がある場合には、その追求に引き続き取り組んでいます。このコミットメントの一環として、地球温暖化を2°C以下に抑えるというパリ協定の目標に沿い、工場*オペレーションによるスコープ1と2のCO₂e排出量の絶対量を、2030年までに30%削減するという長期目標を設定しました（基準年2018年比）。

2021年スコープ1および2のCO₂e排出率の削減†



2022年スコープ1および2のCO₂e排出率の削減†



*カリフォルニア州ニューベリーパークを含む主要な製造拠点。マサチューセッツ州ウォーバーン、メキシコ・メヒカリ、日本・門真市および大阪市、シンガポール・ベドック。

† 前年比

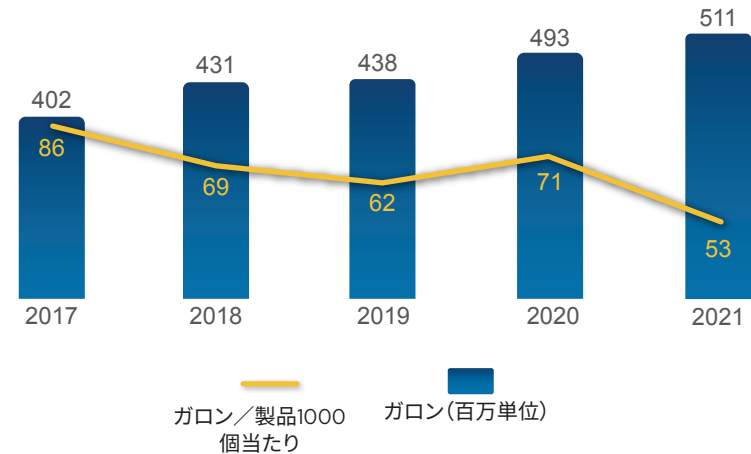
環境

水管理

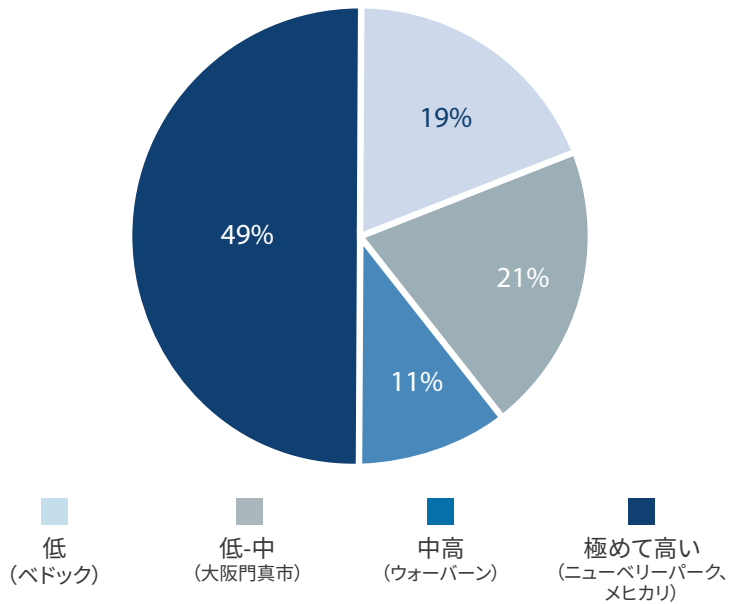
2021年のスカイワークスの主要製造拠点全体における水の取水量(100%自治体の水道事業者からの取水)は、510,657,491ガロン(1,933,049立方メートル)でした。同じ期間に、水の使用効率は過去最高を記録しました。水の使用量を製品1000個当たり53.1ガロン(201リットル)まで削減することにより、年間改善目標の10%を上回り、前年比で25%の効率改善を達成しました。

最も顕著に効率性を改善したのは、シンガポールとメヒカリの拠点におけるもので、これらの2拠点では大規模な水再生プロジェクトが完了、または完了目前であり、水の再利用を推進した結果、水需要全体が減少しています。

工場[†]の水使用量



工場[†]のストレスレベル別の水使用量(WRIウォーターリスクアトラスツール)



2021年水利用効率改善[†]



2022年水利用効率改善[†]



[†]カリフォルニア州ニューベリーパークを含む主要な製造拠点。マサチューセッツ州ウオーバーン、メキシコ・メヒカリ、日本・門真市および大阪市、シンガポール・ベドック。

[†]前年比

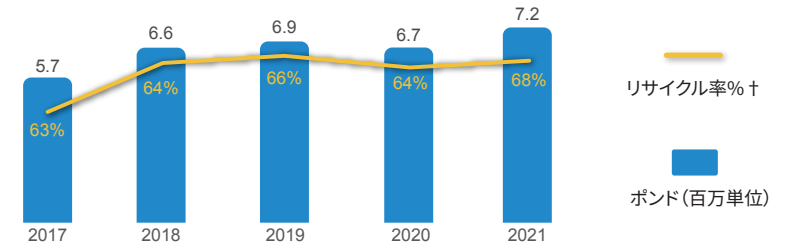
環境

廃棄物管理

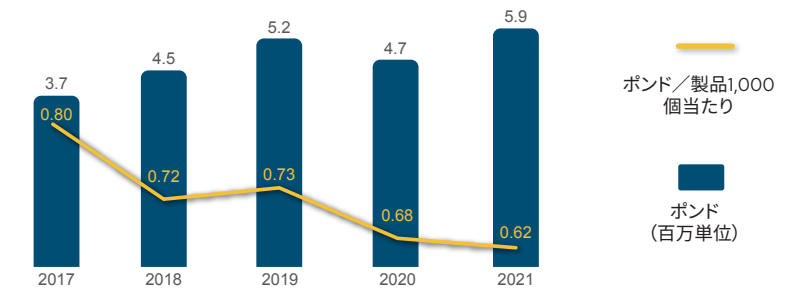
大量生産を行っている当社にとって廃棄物の最小化は、材料の使用効率と廃棄物管理能力を測る重要な指標です。

当社の拠点では、廃棄物戦略を展開し、発生源の削減、化学物質の代替、使用効率、リサイクルにより廃棄物を最小限に抑えています。スカイワークスの廃棄物管理プログラムは、適用される規制を確実に遵守し、廃棄物による環境への影響を最小限に抑えるよう取り組んでいます。日本の大阪事業場では、溶剤のリサイクルおよび再販プログラムを実施して有害廃棄物の発生を大幅に削減し、米国工場では、化学物質の代替を活用して、生産で使用する主要溶剤の使用および関連廃棄物を最小限に抑えています。

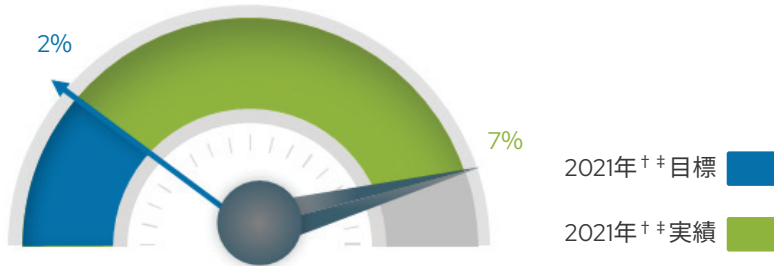
工場*地方自治体廃棄物



工場* 有害廃棄物の生成



工場*の2021年地方自治体の廃棄物リサイクル改善† †



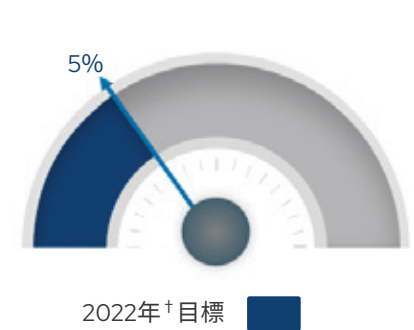
工場*の2022年地方自治体の廃棄物リサイクル改善† †



2021年工場*有害廃棄物生成率の削減†



2022年工場*有害廃棄物生成率の削減†



*カリフォルニア州ニューベリーパークを含む主要な製造拠点。マサチューセッツ州ウォーバーン、メキシコ・メヒカリ、日本・門真市および大阪市、シンガポール・ベドック。

† エネルギー回収を含む、自治体の廃棄物処理業者によるリサイクル

† 前年比

サイバーセキュリティ

スカイワークスは、当社の事業目標と顧客のニーズをサポートするすべての情報リソースと資産の安全な環境維持取り組んでいます。スカイワークスのサイバーセキュリティおよび情報セキュリティプログラムは、次の目標を念頭に置いて開発されました。

- 事業の中断、お客様やステークホルダーへの危害、評判の低下、規制当局による罰金の可能性のリスクを最小限に抑える
- スカイワークスのネットワーク、システム、およびアプリケーションをサイバー攻撃から保護する
- 政府および業界の規制を遵守し、お客様のニーズを満たす
- 取締役と経営陣に対して、セキュリティリスクと関連する構えについて教育する
- 進化する脅威の状況を継続的に監視し、サイバーレジリエンスを確保するために適切な保護手段を実装できるようにする

当社では、業界のベストプラクティス、規制要件、およびお客様の義務に基づいて、サイバーセキュリティプログラムを構築しています。また、米国国立標準技術研究所 (NIST) のさまざまな枠組みと ISO 27001 基準を含む統合制御枠組みを適用しています。スカイワークスでは、リスク管理、使用規定、アクセス制御、資産管理、暗号化、物理的セキュリティ、人的資源のセキュリティ、運用セキュリティ、通信セキュリティ、ソフトウェアの取得、開発と保守、およびベンダー管理を組み込んだ包括的な情報セキュリティポリシーを開発し、採用してきました。また、インシデント管理、システム強化、災害復旧などのトピックをカバーするベストプラクティスに基づいて構築された詳細な手順とガイドラインも備えています。ポリシー、手順、およびガイドラインは、年間を通じて見直され、ビジネス、規制、またはIT環境に変更があった場合は必要に応じて更新されます。

スカイワークスは、従業員教育、トレーニング、サイバーセキュリティ速報を通じて、セキュリティ志向の組織を育成しています。当社では、サイバーセキュリティのあらゆる側面について当事者意識と説明責任の文化を信頼し、ユーザーは不正な活動、異常な事象、フィッシングの疑いのあるEメールについては報告することが奨励されています。また、すべての従業員はセキュリティ意識向上トレーニングを受講する必要がある、プライバシーや内部者脅威などに絞ったトレーニングは、ユーザーの職務に基づいて実施しています。ユーザーは、入社時およびその後毎年、当社の利用規定を確認・承諾する必要があります。サイバーセキュリティはスカイワークスのインフラストラクチャーと事業運営に深く浸透しており、スカイワークスのデジタルエコシステムの重要な要素となります。

サイバーセキュリティ評議会は、サイバーセキュリティのイニシアチブとビジネス目標との整合性を管理し、確保するために設立されました。本評議会には、さまざまな部門の役員およびマネージャーが参加し、四半期ごとに開催され、最高情報セキュリティ責任者 (CISO) から、業界動向、サイバーセキュリティの主要取り組み、今後のセキュリティ変更、潜在リスク領域、現在のセキュリティリスク態勢に関する最新情報を受け取ります。また、経営陣は四半期ごとに、監査委員会または取締役会全員に対して、同様のトピックと主要なサイバーセキュリティ指標に関する最新情報を提供します。

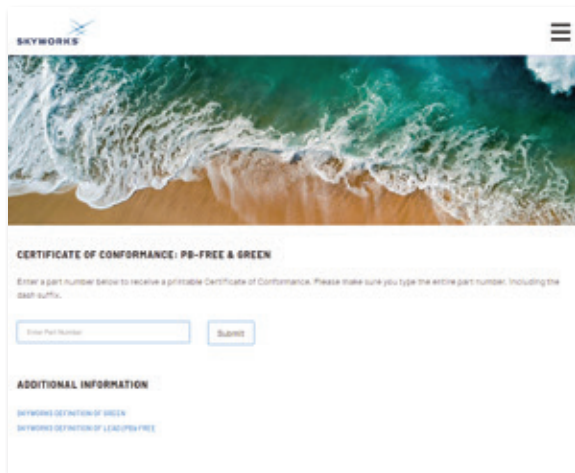
当社のサイバーセキュリティプログラムについては、独立した第三者企業や内部監査人がその有効性について確認し、お客様やビジネスパートナーも当社のプログラムをレビュー・監査します。



製品ライフサイクル管理

スカイワークスは、多数の最終製品に使用される半導体デバイスのサプライチェーン製造業者として、製品に含まれる有害物質を管理徹底することで、製品ライフサイクル管理にも寄与することができます。当社は、サプライヤーの認定と、業界で認知されている国際電気標準会議 (IEC) の62474 Declarable Substance List (DSL、要申告物質リスト) に準拠して材料を認定するという強固なプロセスを維持しています。IECが述べているように、「電気電子産業とそのサプライチェーンは、材料宣言を使用して、製品の材料組成に関する特定の情報を追跡および宣言します。サプライチェーン全体の要件を調和し、経済効率を向上させるために、IEC62474は材料構成データの交換に関する国際規格を提供し、材料宣誓書の要件を規定しています。本国際規格は、物質や材料の報告に関する要求事項を確立し、プロトコルを標準化し、データの転送と処理を容易にすることで、電気技術産業に利益をもたらすものです。」

RoHS、REACH、IEC 62474 DSLを含む適用される規制要件への適合状況を示す**適合証明書**は、当社のウェブサイトですべての物質を特定し、その濃度やIEC 62474への準拠状況を記載した材料宣誓書全文をすべてのお客様にお届けします。



サプライチェーン

責任ある鉱物調達

当社の事業運営に不可欠と考えられる材料には、タンタル (Ta)、スズ (Sn)、タングステン (W)、金 (Au) があり、これらは総称して3TGと呼ばれています。これら4つの材料の使用は、半導体業界では一般的であり、米国証券取引委員会 (SEC) の紛争鉱物規制の下で規制されています。この規則に従い、当社は責任ある鉱物調達プログラムを定めています。本プログラムは、鉱物のサプライチェーンにおける人権侵害のリスクを特定し、排除するための調達慣行の評価を行い、3TGの使用に関連するリスクを低減することを目的としています。当社は、企業のサプライチェーンに関する意思決定を支援するRMI (Responsible Minerals Initiative) の長年のメンバーとして、RMIの主要なRMAP (Responsible Minerals Assurance Process、責任ある鉱物保証プロセス) を活用し、独立した第三者による製錬所/精製所の監査を行うサプライチェーンのパートナーと協力して、監査済みで準拠したサプライチェーン100%を目指して取り組んでいます。当社の紛争鉱物方針は、現在および過去の紛争鉱物報告とともに、当社のウェブサイトで開催されています。



	識別された製錬所/精製所	適合率%*
タンタラム	35	100%
錫	50	100%
タングステン	35	100%
金	59	100%
合計	179	100%

*Responsible Minerals Assurance Program (RMAP)、LBMA Good Deliver List、Responsible Jewellery Council Chain of Custody Certification

サプライチェーン

サプライヤーの責任

グローバルなサプライチェーンは、当社の柔軟性およびお客様のニーズに応える革新力にとって不可欠です。当社の工場で開催するのとまったく同じ持続可能なビジネス基準をより広く普及させるユニークな機会を与えてくれます。サステナビリティの基準は、[サプライヤーサステナビリティ要件](#)に記載され、サプライヤーに伝達されます。この要件はRBA行動規範を活用しており、当社のサプライチェーンパートナーに要求される基準を定めています。

当社では、毎年、最低でも必要量の製品または原材料を調達するサプライヤー、および現場サービスを提供する主要ベンダー、第三者派遣会社で構成される「主要サプライヤー」リストを作成します。2021年、当社は48社のサプライヤーを主要サプライヤーに指定しました。当社は、サプライヤーサステナビリティ要件およびRBA行動規範に規定された基準に照らして行うサステナビリティプログラムとパフォーマンス評価を含め、主要サプライヤーの年次評価を義務付けています。このサプライヤーリスク評価プロセスの主要ツールは、RBAが開発した[自己評価質問票 \(SAQ\)](#)です。

2021年、当社は、主要サプライヤーの中で89%の回答率とSAQ完了率を達成しました。スカイワークスのポリシーによると、「高リスク」と採点されたSAQは、追加のフォローアップと是正措置計画が必要となります。未解決の問題が適時に解決されない場合、高リスクのサプライヤーは、監査または認定剥奪の対象となります。また、サプライヤーは、その他のリスク要因に基づき、スカイワークスの要請により、監査の対象となります。2021年に監査を受けたことが確認された、またはVAP ([Validated Audit Process](#)、[検証監査プロセス](#)) 監査報告書を保有するサプライヤー施設は合計17か所です。VAPはRBAの標準化された監査プロセスであり、VAP監査報告書は2年間有効です。2021年に2件の優先所見が出されたサプライヤーは、RBAの是正処置プロセスを開始し、所見の終結に向けてのレビューに取り組んでいます。

サプライヤー認定プロセス



1. コミュニケーション

サステナビリティの要件は、「サプライヤーサステナビリティ要件」によりサプライヤーに伝達されます。サプライヤーは、すべての認定サプライチェーンパートナーが満たすべき義務について知らされます。



2. 認定

サプライヤーは、製品の品質、性能、価格、サステナビリティプログラムなどに関連する厳格な基準に基づいて、厳密に評価され、認定されます。



3. 識別情報

主要なサプライヤーを特定します。これらのサプライヤーは当社の支出の大部分を占め、下請けのアセンブリ施設や労働機関(人材紹介会社など)が含まれます。



4. リスク評価

すべての主要サプライヤーは、RBAによって開発・実施されている業界標準のSAQを完了します。SAQのスコアに基づいてリスクランクが特定されます。



5. 監査

スカイワークスから個別に要請された施設に加え、高リスクと評価されたサプライヤー施設は実地での業界標準RBA VAPを完了する必要があります。VAPはサードパーティによるリスクベースの監査プロセスで、サプライヤーは客観的に評価され、サステナビリティパフォーマンスが採点されます。



6. 継続的改善

サプライヤーは、VAPで特定された問題に対して是正措置計画(CAP)を開始します。スカイワークスは、サプライヤーと協力してCAPの終了まで追跡し、必要に応じてサプライヤーの拠点でさらに支援します。

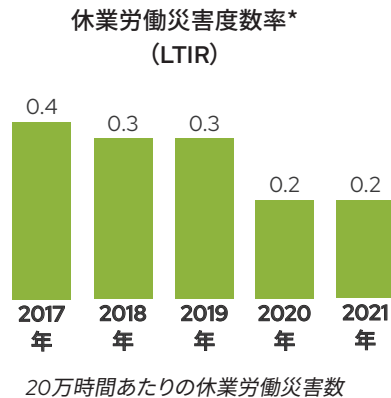
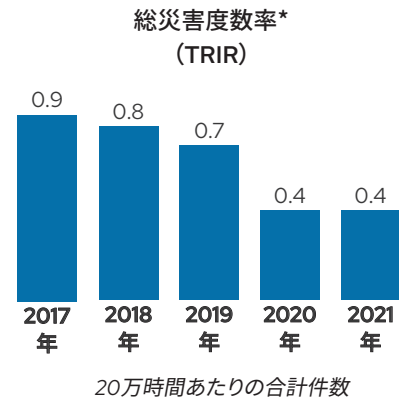
安全衛生

安全かつ衛生的、生産的な労働環境へのコミットメント

従業員の安全と健康は、常に最優先事項です。安全衛生に対する当社の取り組みは、世界中の事業原則とマネジメントシステムに統合されています。積極的な改善指標を設定し、定期的なマネジメントレビューの場で報告され、さらに改善策も特定します。

「安全第一」の考え方を補完するため、リスク評価と仕事の危険分析を定期的を実施し、職場の危険を特定および管理しています。さらに、産業衛生プロセスでは、職場の化学的および物理的ストレス要因への曝露を減らすために、危険を予測・認識・評価・制御する手段を確立しています。全体として、当社の健康と安全プログラムおよび実践は、内部監査プログラムの一環として、すべての工場で監査されます。さらに、根本原因分析を実施し、特定されたリスクを最小限に抑えるための是正措置を決定します。

これらのプログラムに後押しされ、2021年には、過去最低の総災害度数率 (TRIR) と過去最低の休業労働災害度数率 (LTIR) を維持できたことをご報告します。



*すべての製造拠点と米国の開発拠点

安全衛生の遵守

スカイワークスは、連邦、地域、自治体の法律および規制に従い、健康と安全に関する検査の対象となり、定期的な検査を受けています。当社は、規制当局と緊密に連携し、必要に応じて適切な措置を講じ、職場の安全を改善し維持しています。2021年、従業員の安全衛生違反に関連する法的手続きの結果、発生した金銭的損失はありませんでした (0件)。

新型コロナウイルス感染症

2021年を通して、スカイワークスの事業は、世界中で必須事業として位置付けられ、安全に事業活動を続けてきました。当社は、従業員、その家族、コミュニティを保護するために新型コロナ対策プレイブックを実践しました。従業員とのコミュニケーションと教育、労働環境の改善、清掃のベストプラクティス、入国審査手順、渡航制限、マスクの使用、ソーシャルディスタンス、潜在的な新型コロナ感染事例への対応において、常時最新の対策を取り入れられるよう継続的な評価を行い、取り組みを調整しました。

スカイワークスは、検査結果を待っている従業員、陽性が疑われるまたは陽性と診断された患者と接触した従業員、自身が新型コロナに感染した従業員、または新型コロナ関連の理由で勤務できない従業員に対し、状況や場所によってさまざまな日数の有給休暇を付与しました。



奴隷および人身売買の防止

スカイワークスは、奴隷と人身売買が当社の事業やサプライチェーンにおいて決して行われぬよう徹底することを約束します。RBAのメンバーとしての仕事に加えて、社内には、RBA行動規範と国際労働基準および人権基準に基づく方針と慣行があります。当社では、RBAのSAQリスク評価ツールを活用し、自社工場およびサプライチェーン内の現代奴隷と人身売買リスクを定期的に評価しています。さらに、RBAの定期的な電話会議、ウェビナー、その他の会合に参加し、労働者の採用慣行に関連するリスクを理解し監視しています。また、調達組織の主要な個人を含む特定の従業員に、RBA行動規範を含む確立されたサステナビリティプログラムおよび要件を認識するための定期的なトレーニングを受講するよう義務付けています。

当社はサプライチェーンと提携して、労働者が(a)自由に雇用を選択する、(b)自由に結社する、(c)労働組合や労使協議会に自発的に参加するまたはしない、(d)団体交渉を行う権利を持つ環境を作ります。本ポリシーをサポートするために、当社は、労務活動が行われている国に適用されるすべての労働法および倫理法をサプライヤーが遵守するように要求します。当社の完成品に組み込まれた材料の直接供給者は、それらの材料が、供給者が事業を行っている国の奴隷および人身売買に関する法律に準拠していることを証明します。

詳細については、[サプライチェーンにおける現代奴隷および人身売買の撲滅に関する声明](#)を参照してください。これは、当社の取締役会によって毎年レビューおよび承認されています。



当社の品質とサステナビリティの方針は、持続可能なビジネス慣行の下で運営しながら完璧な品質を目指すという当社のコミットメントを反映して表明されています。当社のマネジメントシステムはISO9001と14001を含む国際的に認められた品質と環境管理の基準に認定されています。認定書は[こちら](#)でご覧いただけます。さらに、当社のシステムは、RBA行動規範に従って設計および運用されています。2021年を通じて、当社はRBAのアクティブなメンバーであり、正会員としてのステータスを維持しました。これは、最高のメンバーシップステータスです。持続可能なビジネス慣行を促進するための当社のコミットメントと取り組みをサポートするために、当社はトップレベルのポリシー文書である[持続可能なシステムマニュアル](#)を公開します。本マニュアルにはRBA行動規範が組み込まれており、RBA行動規範およびその他の要件がどのように当社の事業運営に統合されているかが詳述されています。

当社では、品質システム基準に準拠して、関連するパフォーマンス指標を持つ目標設定プロセスを展開します。その後、パフォーマンスに関しては、各拠点の経営幹部および事業部門長の両方が参加する管理レビューフォーラムで定期的にレビューし、コミットメントをサポートするために、必要なアクションとリソースを適用します。

さらに、内部監査プロセスを維持し、最大の顧客の場合はそのリクエストに応じて定期的な監査を行っています。2021年には、日本の門真および大阪の施設でRBA VAP監査を無事に完了しました。特定された非準拠領域に対しては、すべての監査（内部および外部の両方）で、根本原因の分析と是正措置が完了しています。2022年に向けて、さらにVAP監査も計画しています。監査結果および関連する是正措置は、ご要望に応じてRBA-Onlineプラットフォームを通じてお客様に公開されます。



Responsible Business Alliance

Advancing Sustainability Globally

倫理

スカイワークスは、適用される法律、規則、規制の文言と精神の両方を遵守し、最高水準のビジネス倫理と一致するように事業を行うことに力を注いでいます。当社の健全なビジネス原則と実践により、倫理的行動、説明責任、透明性への強いコミットメントを促進します。

行動規範

当社は、模範を示してリードすることを目指しており、これは、[倫理行動規範 \(規範\)](#) で定義されている優れたコーポレートガバナンスと原則に基づいています。本規範は、すべての従業員が遵守すべき倫理的なビジネス行動の幅広い原則を概説しています。本規範は、私たちを導く主要な方針の多くを説明し、参照しています。たとえば、本規範は、利益相反、贈収賄防止および機密情報のポリシーを説明し、インサイダー取引、ハラスメント、差別などの問題に対処するポリシーを参照しています。

コミュニケーションとトレーニング

当社は、主要拠点の現地の言語ですべての従業員が規範を利用できるようにします。本規範は、[米国の公共政策擁護声明](#)などの他の方針とともに、当社のWebサイトで公開されています。従業員は、毎年、規範の内容を確認し、承認する必要があります。さらに、リスクと要求に基づいて対象を絞ったトレーニングを提供します。たとえば、2021年には、利益相反、贈収賄および不正行為防止、独占禁止法の考慮事項、機密情報、貿易コンプライアンスなどのトピックについて、特定の従業員グループにトレーニングを実施しました。2021年のトレーニングコースの評価の結果では、対象者の99.9%が規範の確認と承認を完了し、対象者の97%が特定の贈収賄防止および不正行為防止のトレーニングを完了しました。

内部告発制度

従業員には、本規範または当社に適用される法律、規則、規制に対する既知の、または疑われる違反行為を報告する義務があります。効果的な倫理およびコンプライアンスプログラムを確立し、従業員と会社間に信頼を築くために、従業員は報復を恐れることなく懸念を提起できなければなりません。当社の規範は、誠意を持って懸念を報告した従業員に対するあらゆる形の報復を禁止しています。

従業員は、世界中の従業員が懸念を報告したり、会社の商慣行について質問するための匿名の内部告発ホットラインなど、さまざまな媒体を通じて質問や問題を提起することができます。本システムを通じて、従業員（および請負業者やその他のサードパーティパートナー）は、48の言語と方言をサポートするインターネット、または344の言語と方言をサポートする電話によるコールセンターを介して、匿名で問題や質問を送信できます。これは当社が運営するすべての事業所で使用される主要言語をカバーしています。従業員が問題提議すると、システムはスカイワークスのコンプライアンス担当部署のメンバーに通知し、時には監査委員長に通知します。メンバーは問題点や質問事項を検証し、適切な人物に調査を依頼します。内部告発制度により、従業員はコンプライアンス担当部署のメンバーと匿名で会話できます。調査が完了すると、問題または質問を提出した従業員は、匿名のコミュニケーションスレッドにより通知されます。



グローバルな熟練労働力の管理

企業文化とダイバーシティ

当社は、世界中にいる約11,000人の従業員で構成されています。

2021年10月1日現在：

- 当社の従業員は、おおよそ次のように地理的に分散されています。メキシコに57%、米国に23%、アジアに18%、カナダに1%、ヨーロッパに1%未満。
- 当社の従業員は、おおよそ次のような職務に分類されています。48%が製造職、31%が技術職、11%が管理職、10%が専門職またはその他の管理職です。
- 全世界の従業員の約35%、および米国の従業員の約22%が女性で、この比率は前年度とほぼ同じです。また、米国で管理職を務める従業員のうち、約18%が女性で、前年の13%から増加しました。
- 米国では、*従業員の人種と民族のカテゴリーは以下のとおりです。アジア系40%、白人40%、ヒスパニックまたはラテン系13%、黒人またはアフリカ系アメリカ人3%、その他（ハワイ先住民または太平洋諸島民、アメリカ先住民またはアラスカ先住民、2種以上の人種を含む）4%です。また、米国において管理職を務める従業員のうち、約48%が白人以外の人種および民族に分類されています。これらの比率は、前年度とほぼ同様です。

2021年に世界の様々な拠点で雇用された外国人の割合は約9%でした。新型コロナウイルスの流行、およびその結果、当社従業員がいる国での渡航およびビザ発行の制限により、当社の外国籍従業員が受入国で適用される労働許可資格を維持することが困難な状況にあります。スカイワークスは不可欠な事業であることから、可能な場合は入国審査書類の迅速な処理を依頼し、これらの課題の軽減に努めています。

採用と定着

当社は、あらゆるバックグラウンドの人々が前向きで生産的な環境で協力できる、包摂的で公平な職場の構築に努めています。人材の多様なグローバル市場を反映する熟練労働者を引き付けるという当社のコミットメントのもと、社内および社外の採用担当者は、可能な場合は、過小評価されている人口統計グループの人々を含めるために、候補者プールを拡大するように訓練されています。さらに、退役軍人や障がい者に焦点を当てたWebサイトや、当社が物理的に運営している地域の求人掲示板に求人情報を掲載しています。当社は、世界中の主要大学と強固な協力関係を築いており、これらの関係を活用して、インターンシップやCo-op（産学連携教育）プログラムを通じてあらゆる人口層の候補者を半導体業界に紹介するとともに、次世代の熟練エンジニアの教育・育成を促進しています。

当社は、社内候補者による募集職種の充足率を最大化することを試みています。2021年には、給与職の募集職種のほぼ3分の1が社内候補者によって充足されました。さらに、主要な地域で高度な技能を持つ従業員を拡充する方法として、地域の人材育成に努め、常に、戦略的買収も行っています。また、「リーダーシップへの移行」プログラム、正式なエンジニアのジョブローテーションプログラム、従業員リソースグループへの女性の積極的な参加を奨励することにより、女性がスキルアップし昇進する機会の提供を継続しています。

当社は、各職種に対して適正な市場内で競争力のある報酬と福利厚生パッケージを提供して、従業員の獲得・維持に重点を置いています。全世界のほぼすべての常勤従業員は、事前に設定された業績目標に連動して支払われる当社の報奨制度のいずれかに参加することができ、さらに当社の従業員株式購入制度に基づき、市場価格から割り引いた価格で当社普通株式を購入できます。

当社のグローバル従業員総離職率は、2021年には22%で、前年の21%から上昇しましたが、米国での従業員離職率は2021年でも11%にとどまっています。

* 米国の労働力に関しては、平等雇用機会委員会に提出した2019年と2020年の雇用情報レポート (EEO-1) をWebサイトに掲載しました。ここには、人種/民族、性別、EEOCの確立された職種ごとの内訳を含む特定の人口統計データが記載されています。当社の労働力の大部分は、スカイワークスが従業員の人種および民族データを収集または報告していない国で雇用されています。メキシコの従業員約6,400人、シンガポールの約1,100人、日本の約550人を含む、スカイワークスの海外拠点の従業員は、主に雇用されている国の国民です。

グローバルな熟練労働力の管理

トレーニングと能力開発

難しいプロジェクトの任務や正式なトレーニング、メンター制度、表彰などを通じて、従業員のスキルや意思決定力を高めることは、従業員の仕事での満足度や定着率だけでなく、強力なリーダーシップのパイプラインを維持するための鍵であると信じています。新入従業員は、経験豊富な入社支援メンターとペアを組み、メンターは各自の役割や会社の方針、手順、文化に適應できるようサポートします。全従業員が利用できる、ビジネスや技術に関するオンデマンドコンテンツの充実したライブラリーに加え、ライブでやり取り可能なトレーニングも複数提供しています。当社のコアリーダーシッププログラムは、初めてマネージャーになった方や、コーチング、戦略的思考、イノベーション、メンターシップなどの主要なリーダーシップ概念の理解と適用を強化したいと希望する中間～シニアレベルのリーダーのために作成されています。リーダーシップレディネスアクセラレータは、長期的なビジネス目標を達成するために必要な主要スキルを強化して、高い潜在能力を持つリーダーを育成するために設計された、没入型で協力的なプログラムです。15か月のプログラム期間中、少人数の作業部会が会社の実際のビジネス上の課題を分析し、経営陣に推奨される解決策を提示します。

従業員エンゲージメント

スカイワークスは、2021年に従業員エンゲージメント調査を実施し、87%の回答率を遂げました。Perceptyxは従業員のエンゲージメントレベルを分析する組織で、スカイワークスの調査を主催しました。同社によると、エンゲージメントレベルが高い組織は、高収益、従業員の低離職率、高い顧客満足度など、多数の重要な指標において、日常的に低い組織を上回っているそうです。スカイワークスのエンゲージメント指数（従業員の組織への愛着を示す指標）は88%でした。全回答者のうち、78%が非常にエンゲージしていると回答し（Perceptyxのベンチマークは64%）、94%がスカイワークスのミッションを認識し、会社の目標や目的を明確に理解していると回答し、最後に93%が当社はお客様の期待を超えるために努力していると考えていると回答しました。

スカイワークスは、従業員がエンゲージできる環境づくりに力を注いできました。2021年

の調査では、従業員とマネージャーの関係、パフォーマンス管理、従業員のエンパワメント、会社への誇り、認識と報酬、成長と能力開発など、特定の取り組みが行われた分野で、前回のフルエンゲージメント調査から、統計的に有意な増加がありました。スカイワークスは、2021年の調査結果を受けて、インクルージョン、達成感、成長と能力開発、認識と報酬、企業ビジョンとの整合性を含むエンゲージメントの主要推進要因に引き続き力を注ぎます。

2021年スカイワークスエンゲージメント調査の結果

この会社で働くことを誇りに思っている	88%	83%
この会社を働くのに良い場所として推薦する	87%	80%
会社は効果的に競争するために必要なことをしている	87%	65%
私のマネージャーは従業員を尊重している	90%	87%
会社では、多様性が重視されている	86%	76%
会社は倫理的なビジネス慣行にコミットしている	90%	86%

技術業界のベンチマーク*

*Perceptyxのデータに基づく

スカイワークスでは、雇用の機会均等を実現しています。雇用に関する決定は、人種、肌の色、宗教、出身国、性別、性的指向、性同一性、年齢、身体的もしくは精神的障害、遺伝要因、軍人/退役軍人の地位、または法律で保護されているその他特徴に関係なく行われています。スカイワークスは、ハラスメント、差別、報復に対して、法律で禁止されているよりも広範囲な行為を禁止する厳格なポリシーを実施しています。スカイワークスはまた、機会均等の職場を維持するために、これらのトピックに関して、従業員に定期的にトレーニングを行っています。

コミュニティ

スカイワークスは世界中に従業員を持ち、多くの国々を「自分の国」と呼んでいます。当社の従業員は、地域の取り組みに関連するプロジェクトを支援し、時間、専門知識、リソースを投入して、躍動的で持続可能な地域社会の開発と維持に努めています。スカイワークスとその従業員は、グローバルコミュニティの一員であることを誇りに思い、可能な限り支援の手を差し伸べています。「コネクテッド・コミュニティ」の取り組みは、3本柱となるコネクションに焦点を当てています。

- STEMコネクション: 地域の教育機関との連携、メンタリングなど、テクノロジーに基づくイニシアティブの充実に重点を置く
- コラボレーションコネクション: 地域社会における協動的な思いやりと帰属意識に重点を置く
- 持続可能なコネクション: 環境イニシアティブに焦点を当てる

以下は、当社のグローバルコミュニティが完了したプロジェクトの一例です。

アンドーバー高校ロボティクスクラブ

チームのスポンサーとして、当社はアンドーバー高校の女子ロボットチームが、FIRST Tech Challenge: Freight Frenzyに参加する際のメンターとなっています。競争するために、チームとそのロボットは、障壁を越えて時間と競争し、重要なアイテムを積み込み、指定された目的地に配達するという複雑な輸送システムをナビゲートする必要があります。



オースティンのカリタス

「Caritas of Austin」のミッションは、グレーターオースティン住民がホームレスになるのを防ぎ、終わらせすることです。テキサス州オースティンのチームは、「Caritas of Austin」と協力して、プログラムに通うクライアント向けに衛生用品とスナックのケアキットを用意しました。



メヒカリ - スカイワークスイノベティブサマーSTEMワークショップ

8歳から16歳までの従業員の子供たち100人が、第6回スカイワークスイノベティブサマーSTEMワークショップを楽しみました。今回もバーチャルで開催しました。



コミュニティ

メヒカリ - クリーニングキャンペーン

メヒカリ地域社会へのコミットメントの一環として、従業員は年間を通じて、拠点近隣の公園や公共区域の清掃、ペンキ塗り、ガーデニングなどを行いました。



チャリティ寄付

2021年を通じて、グローバルイニシアチブ、および米国とカナダでの会社のチャリティ寄付と従業員マッチングギフトプログラムを通じて寄付が行われました。スカイワークスファミリーは、多くの価値ある活動を支援し、困っている人たちに違いをもたらすことを誇りに思っています。



コミュニティでの多様性

2021年、スカイワークスは、『STEM Workforce Diversity』誌および『Minority Engineer』誌のTop 50 Employerリストに選ばれました。

STEM Workforce Diversity誌で無作為に選ばれた読者は、毎年の読者調査を通じて、マイノリティグループ、女性、障がい者であるSTEM専門家のために最も働きたい、または好ましい労働環境を提供すると考える国内のトップ雇用主を選びます。同様に、『Minority Engineer』誌の読者の中から無作為に選ばれた人に、最も働きたい、あるいはマイノリティグループや多様な文化を持つエンジニアにとって好ましい労働環境を提供してくれると思う国内のトップ企業および／または政府機関を選んでもらいます。

さらに、2021年には、当社は以下の組織のリクルートイベントに協力しました。

- Fort Hood and Fort Gordon Transition Assistance Program Career Fair (フォートフッドおよびフォートゴードンの移行支援プログラム) キャリアフェア
- National Society of Black Engineers (NSBE) National Convention (全米黒人エンジニア協会 (NSBE) 全米大会) バーチャルキャリアフェア
- Society of Hispanic Professional Engineers (SHPE) National Convention (ヒスパニックプロフェッショナルエンジニア協会 (SHPE) 全米大会) バーチャルキャリアフェア

また、Research, Academics and Mentoring Pathways (RAMP) Programを通じて、マサチューセッツ大学ローウェル校工学部の女子新生に数学とコンピュータープログラミングの上級クラスを提供する年次助成金も支援しています。このプログラムでは、入学した工学部の女子学生の定着率が通常90%以上となっています。スカイワークスは、ニーズに基づく学生の費用を相殺する助成金に加えて、女性の技術メンターも提供しています。スカイワークスはまた、多様性、障がい、退役キャリアのサイトで全国のポジションを促進するために提携しているCirca (前Local Job Network) や、スカイワークスが物理的に存在するすべての州の雇用事務所とも長い関係があります。

TCFD索引

本レポートでは、気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) の推奨事項に基づいて、初めて気候関連情報を開示します。以下は、これまでの進捗状況の要約です。

開示分野	TCFD推奨開示	スカイワークス開示 (参考文献付き)
ガバナンス	気候関連のリスクと機会に関する会社のガバナンスを開示する	取締役会、および、推薦・コーポレートガバナンス委員会が監督し、経営陣から定期的に最新情報を受け取る。 本書の ガバナンス および 監視 セクションを参照してください。
戦略	気候関連のリスクと機会が、会社のビジネス、戦略、財務計画に及ぼす実際の影響と潜在的な影響を開示する (そのような情報が重要である場合)	このトピックに対応して含めた情報は、当社の事業にとっては重要ではないと考えています。さまざまなステークホルダーとの関わりに基づいて、水使用量とGHG排出量を、当社の事業に対する2つの主要な気候関連リスクとして特定しました。 当社のグローバルサプライチェーンは、干ばつ、山火事、海面上昇、ハリケーン、津波、その他の自然災害、または気候変動によって引き起こされる、または悪化する可能性のある悪天候など、さまざまな気候関連のリスクにさらされています。製造能力に支障が生じた場合、代替の製造元がすぐに利用できない場合もあり、そのため、当社製品を適切に供給する上で困難、遅延、または追加費用が発生する可能性があります。本書の サプライチェーン セクションで詳しく説明されているように、サステナビリティ要件によりサステナビリティの優先順位をサプライヤーに伝えます。サプライヤーはリスク軽減とCO2e排出削減およびその他の環境改善を推進するためのマネジメントシステムアプローチを使用する必要があります。 当社のワイヤレス接続ソリューションは、世界中のさまざまな業界でサステナビリティへの取り組みを推進するために、より多くのエンドユーザーに使用されています。
リスク管理	会社が気候変動リスクをどのように識別し、評価し、管理しているかを開示する	当社の年次企業リスク管理プロジェクトは、グローバルなビジネスリスクを把握し、年次戦略計画プロセスへインプットすることを目的としています。 当社のバリューチェーン全体に影響を及ぼす気候関連リスクを理解し、管理するために、お客様、サプライヤー、投資家、およびその他のステークホルダーと定期的に意見交換を行っています。詳細については、本書の 株主エンゲージメント に説明があります。 当社が使用しているRBAのSAQは、気候変動などサステナビリティのあらゆる要素を網羅した詳細なリスク評価ツールです。
評価指標と目標	そのような情報が重要である場合、関連する気候関連のリスクと機会を評価および管理するために使用される測定基準と目標を開示する	このトピックに対応して含めた情報は、当社の事業にとっては重要ではないと考えています。 2021年の目標と成果、2022年の目標、および長期のCO2e排出削減目標の開示については、本書の 環境 セクションを参照してください。また、CO2e削減目標と年次CDP気候開示の進捗状況についても報告しています。 現在、スコープ3のCO2e排出量の追跡や目標設定はしていませんが、将来的には設定する予定です。

付録

SASB索引

また、本レポートでの当社の開示は、半導体業界向けのサステナビリティ会計基準審議会 (SASB) によって定められた基準と一致しています。以下は、これまでの進捗状況の要約です。

トピック	コード	会計指標	測定単位	当社の対応とコメント	報告書の参照元
温室効果ガスの排出	TC-SC-110a.1	(1) スコープ1の総グローバル排出量、(2) ペルフルオロ化合物からの総排出量	メートルトン(t) CO2e	(1) 36,792 t (2) 27,134 t	温室効果ガス排出管理
	TC-SC-110a.2	スコープ1の排出量、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析を管理するための長期および短期戦略または計画についての議論		温室効果ガス排出管理セクションを参照してください。	温室効果ガス排出管理
製造業におけるエネルギー管理	TC-SC-130a.1	(1) 総エネルギー消費量、(2) 電力供給網からの電力の割合、(3) 再生可能電力の割合	ギガジュール (GJ)、 割合 (%)	(1) 1,484,990 GJ (電力+天然ガス) (2) 100%電力供給網からの電力 (3) 消費されるエネルギーの8%は、再生可能エネルギー源から供給されていると見なされる (規制義務を超えたオフセットとして適用される再生可能エネルギークレジットの購入による)	エネルギー管理
水管理	TC-SC-140a.1	(1) 取水された総水量、(2) 消費された総水量。ベースラインの水ストレスが高いまたは非常に高い地域におけるそれぞれの割合	千立方メートル (m ³)、 割合 (%)	(1) 1,933,049 m ³ (2) ストレスレベル別の水使用量 (WRIウォーターリスクアトラスツール) 低:19%、低-中:21%、中-高:11%、高:0%、非常に高い:49%	水管理
廃棄物管理	TC-SC-150a.1	製造からの有害廃棄物の量、リサイクル率	メートルトン (t)、 割合 (%)	2,701 t %再生不可	廃棄物管理
従業員の安全衛生	TC-SC-320a.1	従業員の健康への有害性を評価、監視、および低減するための取り組みの説明		安全衛生の項を参照のこと	安全衛生
	TC-SC-320a.2	従業員の安全衛生違反に関連する法的手続きの結果、発生した金銭的損失の合計額	報告通貨	2021年に発生した金銭的損失はゼロ	安全衛生の遵守
グローバルな熟練労働力の採用と管理	TC-SC-330a.1	従業員のうち、(1) 外国籍、(2) 海外勤務の割合	割合 (%)	(1) 9% 外国籍 (2) 72% 海外勤務 (米国以外)	企業文化とダイバーシティ

付録

トピック	コード	会計指標	測定単位	当社の対応とコメント	報告書の参照元
製品ライフサイクル管理	TC-SC-410a.1	IEC62474宣言可能な物質を含む収益別の製品の割合	割合(%)	収益別製品の1%未満	製品ライフサイクル管理
	TC-SC-410a.2	システムレベルでのプロセッサのエネルギー効率:(1) サーバー、(2) デスクトップ、および(3) ラップトップ	製品カテゴリ別各種	当社が製造する製品は常に更新されており、お客様はリストにある製品カテゴリを含む複数の最終用途に組み込むことができるため、この指標に従った割合を追跡または開示しません。	
材料調達	TC-SC-440a.1	重要な材料の使用に関連するリスク管理の説明		説明については、 鉱物調達セクション を参照してください。	責任ある鉱物調達
知的財産保護と競争行動	TC-SC-520a.1	反競争的行動規制に関連する法的手続きの結果としての金銭的損失の合計額	報告通貨	法的手続きに関する情報は、フォーム10-Kの年次報告書およびフォーム10-Qの四半期報告書に開示されており、当社のWebサイトの投資家関連の部分で入手できます。	該当せず

免責条項

本書に含まれている将来の見通しに関する記述は、1995年公布の民事証券訴訟改革法（Private Securities Litigation Reform Act of 1995）で定められた法的責任の免責条項を満たすものです。将来の見通しに関する記述には、スカイワークスの将来のイベント、結果、および期待に関する情報が含まれますが、これらに限定されません。見通し情報は、「予想」、「期待」、「予測」、「意図」、「確信」、「計画」、「可能性」、「今後」、「引き続き」などの言葉や同様の表現、そしてこれらの言葉の変形や否定形によって特定される場合があります。実際の出来事および／または結果は、世界的な新型コロナウイルス感染症のパンデミックの当社の事業運営への影響および、新型コロナウイルス感染症の広がりを制限するために取る措置と以下に講じられた措置を含みますがこれらに限定されない特定のリスクおよび不確実性の結果として、そのような将来の見通しに関する記述とは重大かつ不利に異なる可能性があります。これらの措置とは、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを封じ込むために当社が活動している法域において、当社、当社のサプライヤーとパートナー、または政府当局によって取られる可能性のある行動を含みます。さらに、当社、当社のお客様または当社のサプライヤーが事業を行っている国の経済的、社会的、軍事的、および地政学的な状況を含み、国際的に事業を行うことのリスクを含みます。さらに、当社の事業および財務結果、経済および当社製品に対するお客様の需要、あるいは金融市場および当社の資金調達能力に悪影響を与える可能性のある法律、規制および／または方針の変更も含みます。さらに、主要な幹部、技術者、その他の従業員を、経験と能力を持ち、ビジネスと製品の計画を実施するために必要な報酬レベルで、その地位と数で維持、採用、雇用する能力も含みます。さらに、SECに提出されたスカイワークスの最新のフォーム10-Kの年次報告書（および／またはフォーム10-Qの四半期報告書）の「リスク要因」セクションで特定されたその他のリスクと不確実性も含みます。スカイワークスのSEC提出物のコピーは、スカイワークスのWebサイト (skyworksinc.com) またはSECのWebサイト (sec.gov) で無料で入手できます。本書に含まれるこれらの将来の見通しに関する記述は同日付時点の情報であり、当社は、新情報または未来事象、その他の事柄のいずれの結果であれ、将来の見通しに関する記述を更新または改訂する義務を一切負わないものとします。

スカイワークス および スカイワークス の記号は、Skyworks Solutions, Inc. または米国およびその他の国の子会社の商標または登録商標です。サードパーティのブランドと名前は識別のみを目的としており、それぞれの所有者に帰属します。

スカイワークスの世界の拠点





SKYWORKS®

すべての人とモノが、いつもつながる世界へ。

Skyworks | Nasdaq: SWKS | skyworksinc.com | sales@skyworksinc.com
米国: 949-231-3000 | アジア: 886-2-2735 0399 | ヨーロッパ: 33 (0)1 43548540 | 1116 第二版



Copyright © 2022 Skyworks Solutions, Inc. All Rights Reserved.